

将来ビジョン

『環日本海地域をリードする「環境・エネルギー先端県とやま」』



- ① 世界に誇れる雄大な「立山黒部」や「世界で最も美しい富山湾」など美しい山と海を有し、豊かな水の恵みを活かして持続的な経済発展を実現する県
- ② 「富山物質循環フレームワーク」の実現に向けた「とやまモデル」が確立した県



2030年のあるべき姿の実現に向けた優先的なゴール、ターゲット



- 「立山黒部」をはじめとする雄大で美しく豊かな自然環境や生態系を**将来の世代に引き継いでいくための保全活動**
- 地球規模での環境問題の解決に向けて**環日本海・アジア地域における環境保全の取組みを推進**
- 清らかな**水資源の保全と活用**
- 県民参加による**水と緑の森づくり**

- 県民のエコライフの実践に向けた環境教育や環境に配慮した事業活動の拡大による**循環型社会・低炭素社会づくりの推進**
- 「富山物質循環フレームワーク」の実現に向けた**「とやまモデル」の確立**
- 環日本海・アジア地域の資源効率性、3Rの推進に向けた**国際貢献**

- 世界に認められた美しい景観を保全し、「立山黒部」や「世界で最も美しい富山湾」のブランドを活かした**観光振興**
- 水産資源を持続的に活用する資源管理型漁業の推進と「富山のさかな」のブランド化の**推進**
- 小水力発電等の再生可能エネルギーの導入や水素など**新たなエネルギーの利活用**、持続的な成長に必要なエネルギー需給の**安定**

推進体制

経済界、NPO、自治体など多様なステークホルダーが参画する「富山県SDGs推進連絡協議会(仮称)」を新たに設置し、本県のSDGsの取組みを一層推進

自治体SDGsの推進に資する取組み

環日本海地域をリードする「環境エネルギー先端県とやま」として、SDGs達成の観点を取り入れた各種施策を通じ、持続可能な県づくりを進めます



室堂平から見た立山連峰

＜立山黒部をはじめとする雄大で美しく豊かな自然環境の保全＞

ライチョウ保護柵の設置や生息・生態調査などライチョウ保護活動の支援 等

＜清らかな水資源の保全と活用＞

漂着物の削減に向けた上流から下流まで県民総ぐるみで取り組む河川等の清掃活動の実施 等



海岸清掃美化活動



各国での漂着物調査

＜環日本海地域の環境保全への国際貢献＞

国連機関や北東アジア地域の自治体等と連携した国際環境協力の推進 等

＜水と緑の森づくり＞

スギ伐採跡地への優良無花粉スギ「立山 森の輝き」の植栽推進など**県民参加の森づくりの推進**



伐採跡地に植栽された優良無花粉スギ「立山 森の輝き」

＜「立山黒部」の世界ブランド化＞

自然環境の保全による「立山黒部」の観光魅力の向上と黒部ルート**の旅行商品化等による観光振興の両立** 等



美しい富山湾

＜国際的ブランド「世界で最も美しい富山湾」の活用＞

「世界で最も美しい湾クラブ」に加盟している富山湾の魅力**をPRするイベントの開催** 等

＜循環型社会・低炭素社会づくりの推進＞

レジ袋の削減を目指してコンビニで使用する小型マイバッグの配布やマイバッグ使用等を呼びかける普及啓発、**レジ袋無料配布廃止、「とやまエコ・ストア制度」の普及拡大** 等



店頭でのマイバッグ持参呼びかけ



「富山のさかな」おもてなしフェア

＜水産業の振興と富山湾のさかなのブランド力向上＞

「富山のさかな・水産加工品」のブランド力向上と販路拡大 等

＜「富山物質循環フレームワーク」の実現に向けた「とやまモデル」の確立＞

「とやま食ロスゼロ作戦」の着実な実行による**食品ロス等を削減する県民運動の展開**、食品ロス削減のための商慣習見直しの推進 等



県内で捨てられた手付かず食品



落差を有する農業用水路

＜再生可能エネルギーの導入、新たなエネルギーの利用に向けた開発の促進＞

農業用水を利用した**小水力発電施設の整備**や導入支援、水素ステーションの県内整備 等

# 一人ひとりの取組みが、 未来を創る。

富山県が目指す「環日本海地域をリードする『環境・エネルギー先端県とやま』」が、  
2019年7月、国のSDGs未来都市に選定されました。

持続可能な世界の実現に向けて、自治体はもちろん、企業、地域、  
そして、私たち一人ひとりができることは——  
SDGsについての理解を深め、  
未来都市提案に掲げる事業を県民の皆様と  
一丸となって推進するためのフォーラムを開催します。



## 富山県SDGs未来都市 選定記念フォーラム

入場無料  
定員200名  
要事前申込み  
先着順

2019年 **8月25日** 日 10:00~12:30

富山県総合福祉会館 **サンシップとやま**  
福祉ホール(富山県富山市安住町5-21)

### ■ 基調講演

テーマ | 地域循環共生圏を通じたSDGs  
— 地方創生に向けて —

講師 | 国立環境研究所社会環境システム研究センター長 **藤田 壮**氏

講師経歴 / 内閣府SDGs未来都市検討・評価委員会委員、同 環境未来都市推進委員会委員 他。  
東京工業大学先進エネルギー国際研究センター特任教授、及び名古屋大学大学院環境学研究  
科客員教授。専門は環境システム学 都市環境計画、環境技術評価、エコタウン など。

### ■ パネルディスカッション

「SDGs未来都市と富山県の地方創生」

コーディネーター | 藤田 壮 氏

パネリスト | 藤田 香 氏(日経ESG編集シニアエディター・富山大学客員教授)  
麦野 英順 氏(富山経済同友会 代表幹事)  
尾畑 納子 氏(富山県消費者協会 会長・富山国際大学教授)  
石井 隆一(富山県知事)

申込み締切 | 8月16日(金)まで(当日消印有効) 参加申込み方法は裏面をご覧ください。



※SDGsとは、国連サミットで採択された「持続可能な開発のためのアジェンダ」に記載された2016年から2030年までの国際目標。  
持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さないことを誓っている。

お問い合わせ先 |  
富山県総合政策局企画調整室  
TEL.076-444-4069 (月~金/9時~17時まで)



# 参加申込方法

先着順 8月16日 金 (当日消印有効) までに

次の参加申込書に必要事項をご記入のうえ、FAX、郵送、Eメールでお送りください。

## フォーラム 参加申込書

ふりがな

(代表者)

氏名

ご連絡先(電話番号)

ふりがな

氏名

ふりがな

氏名

FAX

FAXでお申し込みの方は上記をご記入のうえ、こちらまでお送りください。

**076-442-5716**

郵送

**富山県SDGs未来都市 選定記念フォーラム事務局**

〒930-0002 富山市新富町1-1-12 明治安田生命富山駅前ビル6F (株)大広北陸内

Eメール

**apply@daiko-hokuriku.co.jp**

※当日は、報道機関の取材でカメラ撮影が行われる場合があります。参加者の

写真や映像が報道される可能性があることをあらかじめご了承ください。

※メールで申し込まれる場合は、上記の記載事項を直接ご記入ください。

※参加票は発行しませんので直接会場へお越しください。



施設の駐車場は大変混雑が予想されますので、公共交通機関をご利用下さい。

会場  
案内

**富山県総合福祉会館  
サンシップとやま**

富山県富山市安住町5-21

TEL.076-432-6141

<http://www.wel.pref.toyama.jp/>

【お問い合わせ】 富山県総合政策局企画調整室

TEL.076-444-4069 (月～金/9時～17時)